第42回県下少年新人柔道大会（全国大会県予選）
（北哲郎旗争奪戦）

実　施　要　項

１　主　　催　　公益財団法人鹿児島県柔道会

２　期　　日　　令和７年２月１６日（日）
※　受付　　８時３０分～
※　審判・監督会議　　９時３０分～
※　開会式　　１０時～

３　会　　場　　西原商会（鹿児島）アリーナ　武道場

４　参加資格
（１）選手は出場の意思が明確であり、保護者の承諾を得ていること。
（２）選手は、小学３年生以上で、健康かつ柔道の経験が１年以上であること。
（３）選手は、令和６年度全日本柔道連盟に競技者登録を、引率する監督は、個人登録及び公認指導者登録をしていること。（大会当日に監督が不在の場合には、選手は試合に出られない。）
（４）選手は、「スポーツ安全保険」等に加入していること。

５　チーム編成
（１）チームは、原則として少年団単位とし、１チームで編成できる。監督１名、選手５名、補欠２名とする。
（２）チームの選手の配列は、①低学年から高学年の順とする。②同学年内は体重の軽い者から順に配列する。
※　計量は任意申告とするため、計量時間は設けない。明らかに申告と違うと判断した場合には、計量を行う。
（３）先鋒及び次鋒は、３・４年生とし、中堅・副将及び大将は、４・５年生とする。
（４）選手の配列は、試合ごとに変更できない。選手と補欠の入れ替えは認めるが、（２）に基づいて配列すること。
（５）選手４名以下の場合は、後詰めとする。ただし、３年生は次鋒までとする。
（６）一度退いた者は、出場できない。

６　試合方法
（１）試合はリンク・トーナメント方式とし、予選リンクで２勝したチームが、決勝トーナメントに進出する。リンク戦・トーナメント戦における勝ちチームの決定は、次の順による。
ア　勝ち点による。
イ　勝ち点が同等のときは、内容による。
ウ　内容も同等のときは、代表戦で勝敗を決する。
※　代表戦については７競技規則（３）ただし書きによって行う。
（２）第３位決定戦は、行わない。

７　競技規則
（１）国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規程による。
（２）試合時間は、３分間とする。
（３）勝敗の決定基準
勝敗の決定基準は「一本」・「技あり」・「指導の差２」とし、得点差がない場合は「引き分け」とする。ただし、代表戦は「引き分け」の試合の中から抽選で１組を選んで通常の３分間の試合を行う。得点差がなく、かつ「指導」差が１以内の場合は旗判定で勝敗を決する（GS は行わない）。
「逆背負投」「両袖を持って施す投げ技」は禁止とし、かけた場合は「指導」とする。

８　組み合わせ　　主催者で決定する。

９　表　　彰　　第１位から第３位までを表彰する。

10　参加申込み
令和７年１月１７日（金）必着で、**下記ＱＲコードまたはＵＲＬから申し込んでください**。

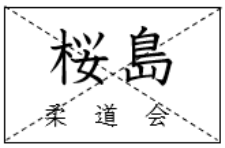
https://forms.gle/pJCqofhvBLCVDvb87

11　参 加 料　１チーム５，０００円
本年度より参加料は事前振込となります。**令和７年１月１７日（金）までに、事前に下記口座に振り込んで下さい。振込手数料はチーム負担にてお願い致します。**

【振込先】
鹿児島銀行　本店　４５１３１８
公益財団法人 鹿児島県柔道会
会長　北　哲郎

12　保護者の承諾について
各チームにて出場選手の保護者に承諾を得て下さい（承諾書は任意様式）。承諾書は必要に応じて提示を求めることがありますので、当日ご持参ください。また、大会終了後はチームにて保管しておいてください。

13　そ の 他
（１）脳震盪対応について
ア　大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
イ　大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
（２）皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
（３）試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
（４）選手は、所定のゼッケンをしっかり縫いつけること。
①　布地は白色（晒太綾）で、サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30cm。
②　上部2/3 に苗字、下部1/3 に所属を表記する。書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること。
③　男子は黒字、女子は赤字とする。　④縫い付けの場所は後襟から 5～10 ㎝下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること。



（５）選手が大会で着用する柔道衣については、規格にあった柔道衣を着用すること。
（６）監督は令和６年度全日本柔道連盟の登録書（ID）を大会当日持参し、受付で提示すること。
（７）監督の服装は、審判員に準ずる。
（８）出場チームの監督で審判ライセンス保持者については審判員を依頼し、円滑な大会運営が行えるよう協力を求める。ついては申込書に、保有する審判ライセンスを記入すること。
（９）大会当日は、駐車場の混雑が予想されるので乗り合わせ、または公共交通機関で来場すること。近隣近辺の無断駐車等は絶対に行わないこと。
(10) 履物は個人管理とするので、ビニール袋等は各自で準備すること。
(11) ペットボトルや弁当空き箱その他ゴミは各チーム責任をもって持ち帰ること。
(12) 感染症対策等健康管理には各自十分配慮のうえ参加すること。